

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第19週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

- 対象期間

令和5年 第19週分 5月8日～5月14日（5月17日時点速報値）

- 症例定義

感染症発生動向調査により、富山県内のインフルエンザ/COVID-19定点医療機関（小児科29定点、内科19定点）から上記期間にCOVID-19と診断された症例。

→定点医療機関当たり**4.17**人、新規患者推計値：**892**人

- 患者推計方法

2022年第40週～2023年第18週の富山県内における全数報告数に対する、定点医療機関の報告数の割合（定点割合）から、新規患者推計値を算出。

【計算式】

(新規患者推計値, 人) = (定点医療機関新規報告数, 人) / (定点割合, %)

(定点割合, %) = [(期間中の定点医療機関新規報告数, 人) / (期間中の全数報告数, 人)] × 100

2023年5月8日より、感染症法上の取り扱いが「二類相当」全数把握から「五類」定点把握に移行した。これに伴い、2022年第40週に遡り週別新規患者推計値を算出し、発生動向を継続的に評価した。

図1. COVID-19週別発生動向の推移（富山県）

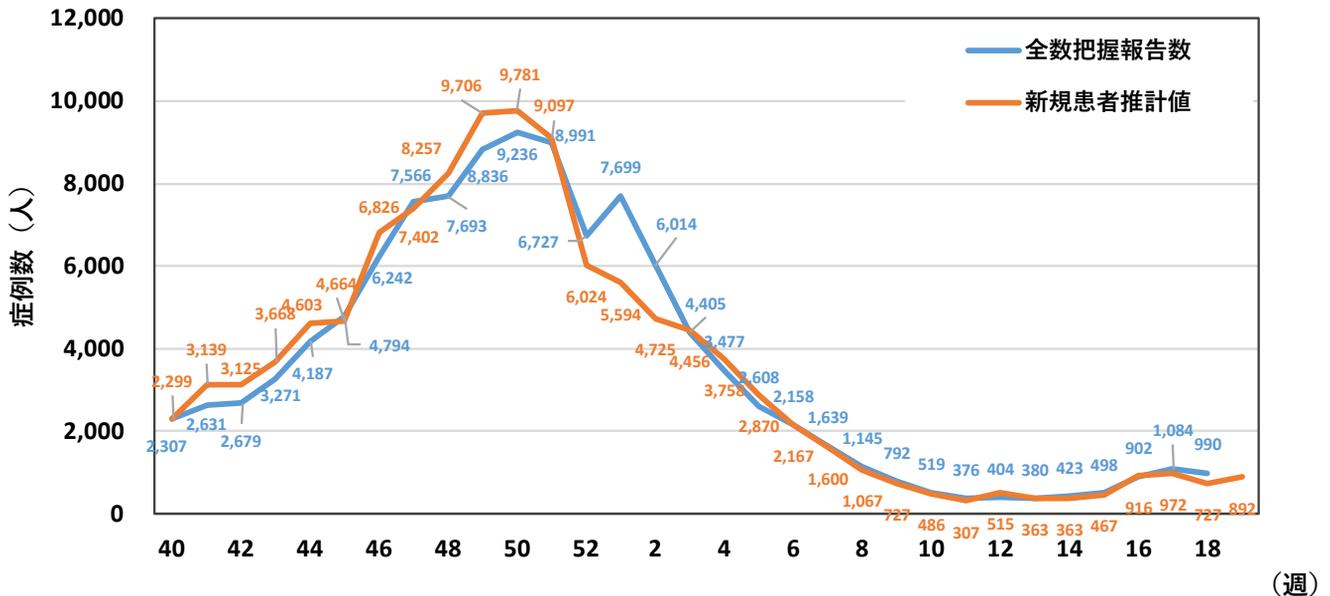


図2. COVID-19患者増減率（対前週、富山県） ※新規患者推計値から算出

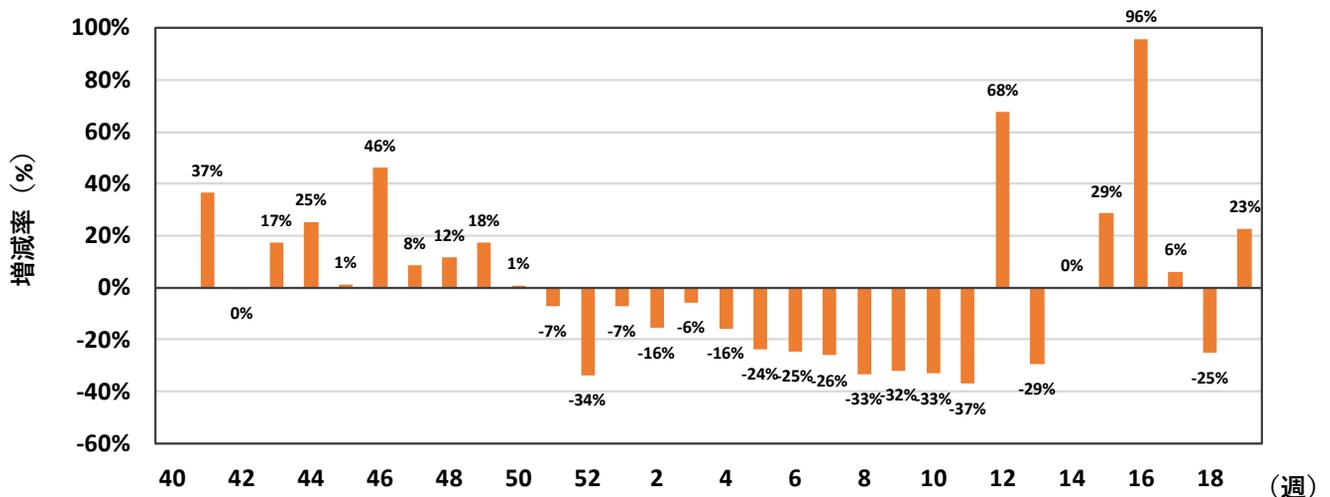


図3. 年齢階級別新規患者推計値（富山県、第19週）

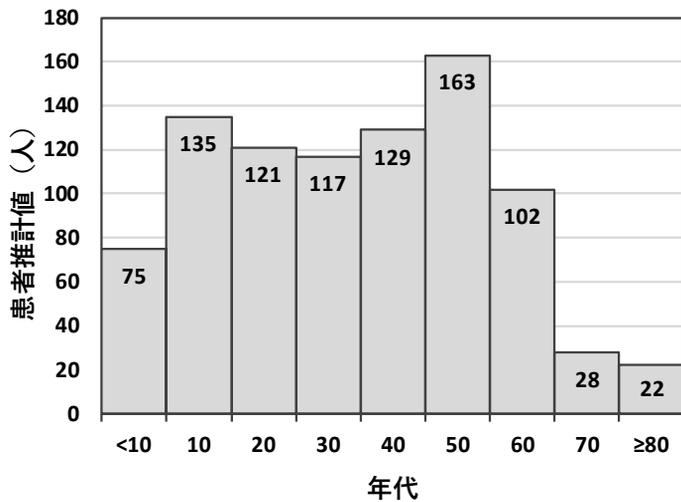


図4. 年齢階級別新規患者推計割合（富山県、第19週）

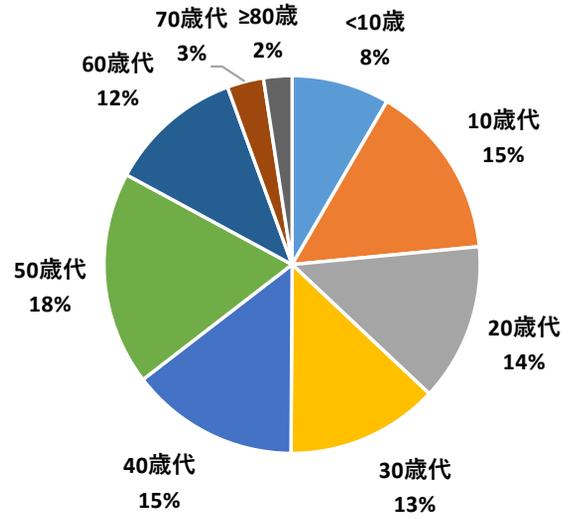


図5. 年齢階級別新規患者推計値の推移（富山県）

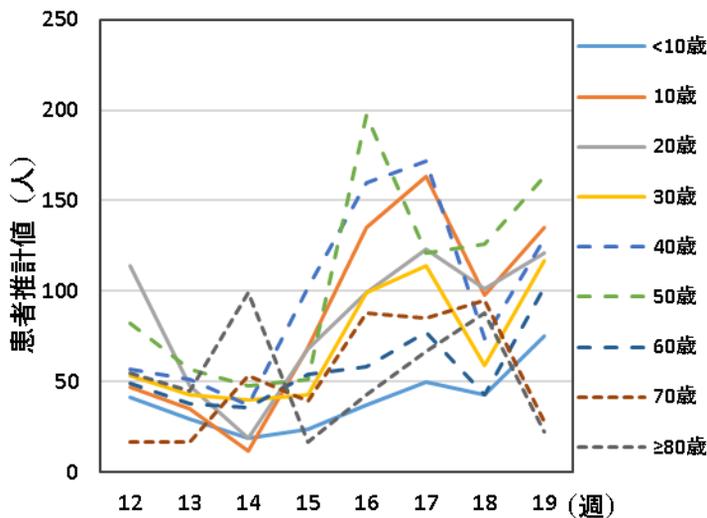
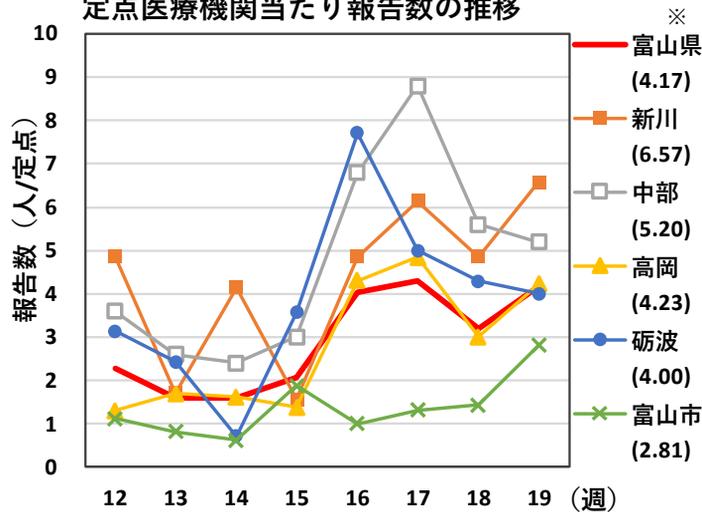


図6. 厚生センター・保健所管内別定点医療機関当たり報告数の推移



※ () 内は今週の定点当たり報告数

第19週（5/8～14）時点での所見と評価

- 第19週の定点医療機関当たり報告数は4.17人、新規患者推計値は892人であった。前週推計値（第18週、727人）から若干（23%）増加した。一方、前々週（第17週、972人）と比較し少ないことから、現時点では大型連休明けの明らかな感染拡大は認められない（図1、2）。
- 第19週の年齢階級別新規患者推計値を図3、図4に示す。10歳未満は8%、10～40歳代は13～15%、50歳代が最も多く18%であった。60歳以上の割合は17%であった。
- 年齢階級別推計値の推移を図5に示す。70歳代、80歳以上で先週から減少した一方、他の年代では増加が認められた。
- 保健所管内別定点医療機関当たり報告数の推移を図6に示す。富山県全域で4.17人/定点で、16週から19週にかけて概ね横ばいである。中部（灰色）、砺波（青）管内では16、17週から減少傾向であった。一方、富山市管内（緑）は他管内と比較して低値であるものの、増加傾向が認められた。